

精密エキスパンドメタル、パンチングメタルを製造販売
自社で金型の設計開発、顧客の開発スピードに即応

NKプラスチック株式会社



精密エキスパンドメタルおよびパンチングメタルを中心とする各種メッシュ製品の製造・販売を手がけており、弱電、自動車、プラントメーカーをはじめ幅広い業界へ納入実績があります。また、二次電池や一次電池電極用機材、エネルギー関係の各種電極部材、フィルター関係などでも高い実績があります。100 μ m以下の箔材の加工は当社の専門分野として得意としており、鉄やステンレス、ニッケル、チタン、銅、アルミ、インコネル、PVC、各種樹脂など様々な素材の量産加工の実績があります。現在は、より難易度の高い素材への対応も進めており、これらの加工のための金型設計・製作を自社で行っている点も特徴にあげられます。

水素関連の取組・導入実績

水素製造装置や燃料電池セルに用いられる電極基材（集電体、給電体など）として、チタンやニッケルを素材に用いたラス基材（精密エキスパンドメタル）、パンチングメタルの提供が可能です。小型・中型・大型の水素製造装置に合わせた、大小様々な電極基材に対応できる点も強みです。電極基材は、高い平坦性が求められますが、50年以上にわたって培ってきた、電極用部材における量産加工技術のノウハウにより対応しています。また、当社の基材には、パートナー企業との連携によりめっき加工などの表面処理も可能です。具体的には、ニッケル、スズ、銅、白銀などのめっき処理に対応します。

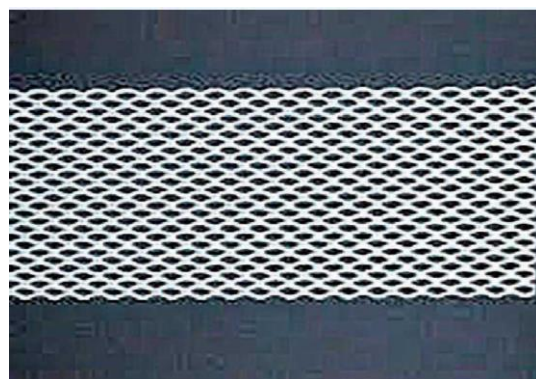
一部の水素製造装置メーカーには、電極基材としてチタンラス基材の供給を開始しています。また、現行の量産品だけではなく、次世代の開発案件に共同で取り組んでいます。



水素製造装置電極用チタンラス基材（大型サイズ）

今後の展開・事業計画

水素燃料電池の市場で使われる電極用基材は、ワールドワイドで見ると市場規模は非常に大きい。販路開拓と技術開発により一層注力することで幅広い市場ニーズに対応する予定です。



水素製造装置電極用チタンラス基材
（小型サイズ、表面Ptめっき品）

企業プロフィール

所在地	〒561-0891 大阪府豊中市走井2丁目10番2号		
創業年月	1924年8月	資本金	1,300万円
代表者	代表取締役社長 福島 輝敬	WEBページ	https://www.nkplustec.co.jp/index.html



担当部署

部署名	営業部
TEL	06-6843-6133
お問合せ	https://www.nkplustec.co.jp/contact.html